

山行報告書

山行管理部

公開山行 信貴山 2月23日 CL新熊 SL松本(光)・加藤・北
参加 43名 一般 0名

近鉄鶴橋 8:10 → 信貴山下 9:01 信貴山下駅 9:15 → 登山口 9:50
→ 朝護孫子寺 10:40 → 信貴山 11:15 → 高安城址倉庫跡 11:40 (昼食)
12:30 → ケーブル高安山駅 13:15 → 高安霊園展望台 13:50 → 恩智駅
14:40 着

天気予報は晴時々曇り。しかし朝から風の強い一日でした。

公開山行のチーフリーダーは今回が初めてで、自分ではゆっくり歩いていたつもりですが、歩き始めて直ぐにちょっと速いとの指摘を受け、終始ゆっくりペースで歩きました。下見に行った時に昼食の場所を何処にするか悩みました。高安城址倉庫跡を見つけた時は良い場所があったと喜びましたが、そこは他のグループも沢山で満員状態でした。また昼食後のクラブ紹介？(一般参加なし)の時は、日も陰り皆さん寒かったかと思います。高安霊園展望台では簡易ザックカバーの作り方を教えて頂き皆さん熱心に聞いておられました。何事もなく全員無事に下山できてなによりです。
(新熊 記)

ウイークデイ山行 小富士山 2月27日 CL 亀谷 SL 杉谷 参加 12名
ショート白浜の宮駅 11:00～麻生八幡神社 11:40～登山口～山頂 12:30 (昼食)
～下山開始 13:00～二寿山分岐～車道～白浜の宮駅 14:30

時々雨、アラレが降る中の山行でした。下山の途中、地元の人に出会い、足元がぬれてるし、危ないで！となだらかな道を案内してくださいました。姫路城も見ることが出来ました。けがもなく下山出来ました。
(亀谷 記)

ウイークデイ山行 阿武山 3月12日 CL 山田 SL 松本(正) 参加 15名
コロナ騒動で外出を控える動きが広がる中での山行に参加者の人数が気になるどころでしたが、晴天にも恵まれて盛況でした。12時に山頂到着、広場は人で一杯！
「こんな時は山に限る」。改めて気楽に出かけられる近郊の山の良さを実感出来ました。日頃のウップンも解消！帰りは今城塚古墳で一休み後高槻と富田へ二手に別れ、それぞれ帰路につきました。
(山田(仁))

土曜山行 旗山～油日岳 3月14日 CL 三嶋、SL 島袋・新熊 参加7名
JR大阪駅6:56発 ⇒ 7:57草津駅 8:02 ⇒ 8:52JR柘植駅 9:02 ～ 10:16旗山～
10:44北打山 ～ 11:22ゾロバ岬 ～ 11:43倉部山 ～ 12:23三国岳 ～ 12:47忍者岳
～13:30油日岳 ～ 14:05油日岳登山口 ～ 15:56JR油日駅(解散)

2～3日前から雨の中での山行は覚悟していたが、旗山や三国岳への急登では特に滑り易く、“てこずった”。旗山からは標高700m前後の縦走コースが続くが、下見の時にはあった「青空の下に霞む伊勢湾」や「甲賀の街並み、里山」が、本番では「淡い灰色のカーテン」や「墨絵の世界」にすり替っていた。

また、気になっていた加茂岳手前の「痩せ尾根」は、二度目の為かさほど恐怖感もなく、通過することできた。油日岳頂上は木々に囲まれており、晴れた日でも眺望は全く効かない。山頂を含め、7つの「名前の付いたピーク」を踏んだが、その殆どにしっかりとした標識が設置されていた。コースの最後は舗装された道を延々と歩き、先日ブラタモリでも紹介された油日神社に立寄り、JR油日駅に到着した。

なお、山行途中、急勾配の下りにおいて、直径12～13cm位の石が、下の方を歩くメンバーの1m程側を高速で落下し、ヒヤリとする場面があった。急な下りにさしかかった時点で、注意喚起すべきであった。

生憎の雨の日ではあったが、「記憶に残る山行」となった。

(三嶋 記)

有志山行 久住山 由布岳 2月17～21日 CL 乾 SL 湯浅 参加者5名

2月17日(月)大阪南港19:05→(フェリー泊)

2月18日(火)別府港6:55→長者原9:30～雨ヶ池11:22～坊がつる
12:35(昼食) 13:00～段原15:30～法華院温泉
17:15(泊)

2月19日(水)法華院温泉7:50～北千里浜～久住分れ10:10～久住山
11:00～御池11:50～久住分れ12:20(昼食)
13:00～牧ノ戸岬14:55→長者原→湯布院温泉(泊)

2月20日(木)湯布院温泉→由布岳正面登山口9:15～合野越10:00～
マタエ11:30～由布岳西峰12:00～マタエ12:25(昼食)
12:50～由布岳東峰13:05～日向岳分岐14:35～由布岳
正面登山口15:35→別府港18:45(フェリー泊)

2月21日(金)→大阪南港6:35(解散)

別府港から長者原に向かう途中から雪が現れ、駐車場は10cm以上の積雪。アイゼンを付けてのスタート。積雪で足下のゴロゴロ石が見えず、慎重に歩いた為

当初予定の大船山へ登頂を諦め、段原で引き返した。憧れの法華院温泉。部屋の中も氷点下?? ものすごく寒かったが、温泉。最高!!

翌日は最高の晴天で、久住山頂からは西に雲仙普賢岳。東の雲の上に四国の山々が浮かんで見え、地元の方も滅多に見られない景色だと\(^0^)/ 中岳方面に向かい、全面凍結した御池があり氷上でのラインダンスを『パチリ!!』やったあ!! 牧ノ戸峠に下山。バスにて長者原へ。出発時の雪は、何処へ?? 初の湯布院温泉。由布岳正面登山口よりマタエ。デポして西峰へ。鎖の連続で、足が足りない! マタエで昼食後、東峰へ。日向岳分岐方面に下山。又々鎖の連続で、とても神経を使った。分岐より登山口までのルートは、日向自然観察道で苔の世界に飛び込んだみたい。苔の岩の上に石を積んでの道案内に、アニメの世界だ!! 下山後、温泉にも立ち寄らずフェリーの一番風呂に、飛び込んだ。九州での、雪山に感激。10cm以上の霜柱に、ビックリ。

(太田 記)

有志山行 東六甲縦走 2月29日(土) CL 園、SL 木村(順) 参加10名

阪急芦屋川駅前 8:00~高座の滝 8:45~ロックガーデン中央稜經由風吹岩 9:35~雨ヶ峠 10:35~七曲り經由一軒茶屋 12:15~石の宝殿 12:25~東六甲縦走路・船坂峠 13:50~大谷乗越 14:40~塩尾寺 15:55~宝塚駅 17:00

7月中旬計画の夏山有志山行に向け、参加者希望者の体力チェックと訓練を兼ね東六甲縦走を計画。女性には8kg、男性には10kg以上のボッカを求め全員、相当の負荷があることを確認し芦屋川駅前を出発。曇天で昼前から雨予報が出ているが、何としても夏山に行きたい思いが、強いのが勝ち、仕事の1名除き全員が参加。ボッカも気にせず、女性たちは相変わらず賑やかな。

現在休業中の滝の茶屋を過ぎロックガーデン中央稜も安定して通過、何度も登っている風吹岩も横に見て前進、雨が降り出しても第一チェックポイントの雨ヶ峠、第二の土樋割峠、第三の一軒茶屋でも、誰もリタイヤすると言わない。

一軒茶屋近くのトイレ入口は先日の降雪の残りが凍っている。冷たい雨の中、黙々と縦走路を歩く姿は逞しい。大谷乗越の急な下りも安定して通過し、7時間半のコースを休憩含め9時間で走破。改めてきたろうの仲間の、逞しさを実感した訓練山行を無事終えた。

(園 記)